

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「伊勢物語」 筒井筒「問題①」

昔、田舎わたらひ^①し^②アける人の子ども、井のもとに^③い^④でて^⑤遊びけるを、大人に^⑥なり^⑦に^⑧エければ、男も女も^⑨恥ぢかはして^⑩あり^⑪おけれど、男はこの女をこそ^⑫得^⑬かめと^⑭思^⑮ふ、女はこの男をと^⑯思^⑰ひつつ、親の^⑱あはすれども^⑲聞^⑳かでなむ^㉑あり^㉒ける。さて、この隣の男のもとより、かくなむ、

筒井筒井筒に^㉓かけ^㉔しまろがたけ^㉕過ぎ^㉖に^㉗けらしな妹^㉘見^㉙ざるまに

女、返し、

比^㉚べ来^㉛し振り分け髪も肩^㉜過ぎ^㉝ぬ君^㉞なら^㉟ずして誰か^㊱上^㊲ぐ^㊳べき

など^㊴言^㊵ひ言^㊶ひて、つひに本意のチごとく^㊷あ^㊸ひ^㊹に^㊺ッけり。

さて、年ごろ^㊻経^㊼るほどに、女、親なく、頼りなく^㊽なるままに、もろともに言ふかひなくて

あら^㊾む^㊿やはとて、河内の国、高安の郡に、[㋀]行[㋁]き通[㋂]ふ所[㋃]出[㋄]でき[㋅]に[㋆]ナけり。[㋇]さり[㋈]に[㋉]けれど、

このもとの女、悪しと[㋊]思[㋋]へ[㋌]る気色もなくて、[㋍]出[㋎]だしやり[㋏]ければ、男、異心[㋐]ありて

かかる[㋑]に[㋒]や[㋓]あら[㋔]むと[㋕]思[㋖]ひ疑[㋗]ひて、前裁の中に[㋘]隠[㋙]れゐて、河内へ[㋚]往[㋛]ぬる顔にて

見[㋜]れば、この女、いとよう[㋝]化粧[㋞]じて、[㋟]う[㋠]ち眺[㋡]めて、

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「伊勢物語」 筒井筒「」 解答①

昔、田舎わたらひ^①し^アける人の子ども、井のもとに^②いでて^③遊び^イけるを、大人に^④なり^{ラ四用}

完了^過去^{サ四用} 完了^過去^{ラ変用} 完了^過去^{ア下二未} 意志^{ハ四終}
ウに^エければ、男も女も^⑤恥ぢかはして^⑥あり^オけれど、男はこの女をこそ^⑦得^カめと^⑧思ふ、女は

この男をと^⑨思ひつつ、親の^⑩あはすれども^⑪聞か^デなむ^⑫あり^キける。さて、この隣の男のもとより、かくなむ、

筒井筒井筒に^⑬かけ^クしまろがたけ^⑭過ぎ^ケに^コけらしな妹^⑮見^サざるまに

女、返し、

カ変^未 過去^{ガ上二用} 完了^{断定} 打消^{ガ下二終} 意志^{ハ四用}
比^⑯べ来^シし振り分け髪も肩^⑰過ぎ^スぬ君^セなら^ソずして誰か^⑱上^グぐ^タべき

ハ四用 比況^{ハ四用} 完了^{過去}
など^⑲言ひ言ひて、つひに本意のチごとく^⑳あひ^チに^ッけり。

ハ下二体 下二体^{ラ四体}
さて、年ごろ^㉑経るほどに、女、親なく、頼りなく^㉒なるままに、もろともに言ふかひなくて

ラ変^未 意志^{ハ四体} 意志^{カ変用} 完了^{過去} 意志^{ラ変用} 過去^{ラ四用}
あら^テむやはとて、河内の国、高安の郡に、^㉔行き通ふ所^㉕出^デき^トに^ナけり。^㉖さり^ニけれど、

ハ四用 存続^{ハ四用} 過去^{ラ四用}
このもとの女、悪しと^㉗思へ^ヌる気色もなくて、^㉘出だしやり^ネければ、男、異心^㉙ありて

ラ四体 断定^{ラ変未} 推量^{ハ四用} 過去^{マ上二用} 意志^{ナ変体}
かかる^ノにや^㉑あら^ハむと^㉒思ひ疑ひて、前裁の中に^㉓隠れ^ミて、河内へ^㉔往ぬる顔にて

マ上二用 意志^{サ変用} 過去^{マ下二用}
見れば、この女、いとうよう^㉖化粧^ジじて、^㉗うち眺^ノめて、